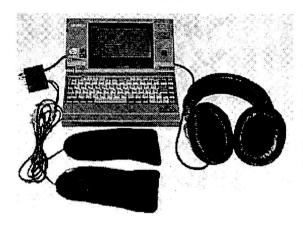
# Sawa Virtual Industrial Park 訓詁が一手やル工第 固地

HOME S-WPの理念 Fラゴンバレー構想 価値づくり発表会

#### 様々なプロジェクトや、技術開発や、製品が生まれています! 諏訪バーチャル工業団地がお手伝いをしています!

## WALK MATE プロジェクト



### 三社が共同で高齢者向けに歩行介助装置を開す

東京工業大学の三宅美博助教授が開発した歩行介助装置の実」して、岡谷市の創業支援センターに入居するスマートセンサーテ(長野県伊那市)、板金加工のコジマ工業(同岡谷市)、デザインミビム(同諏訪市)の三社が共同で歩行介助装置『ウォーク・メイト』います。

#### ◆ 記事が掲載されています

諏訪市)の三社。いずれ して製品開発を目指す イン会社のゲルビム(同 **市)、板金加工のコジマ** のスマートセンサーテク 術や技能を持ち寄り試作 ザインなど各社が得意技 助装徽の実用化を目指 助教授が開発した歩行介 器の製品化に取り組む。 もインターネットを活用 工業(同岡谷市)、デザ に入居する電子装置製造 谷市の創業支援センター や製品化を進める。 東京工業大学の三宅英博 区の中小企業三社は共同 步行介助 装 ロジー(長野県伊那 共同開発するのは、 【松木】長野県孤肋地 電気回路の設計やデ [23] カードに張らし、模様の 変化で判定する。器具や と犬から採取した血液を ットに備わっている試薬 を十七日に発売する。キ 被型を判定できるキット ン内で歩く仮想ロボット 成。装着すると、パソコ パソコン、靴の中敷きタ ンと、腰に携帯する小型 ク・メイト」はヘッドホ ら打診を受けた。 研究会で、三宅助教授か、聞こえ、無意識のうちに る第一化学楽品は犬の血 イプの圧力センサーで構 に開催した同工業団地の一の足音がヘッドホンから Ħ 歩行介助装置「ウオー 諏訪地区の中小3社 製品 一製薬の子会社であ Ø 血液型を判定 化学薬品がキット 価格は五回用で一万五千 独占販売権を得た。希望 アグロラボから日本での ット はスイスのDMS トー 日 犬血液型判定手 ż ための血液検査を短時間 テンポを感知、仮想ロボ で簡単に実施できるとい センサーは高齢者の歩行 き、リズムを維持できる。 ットの歩行テンポを関節 三月末までに試作機を完 する。同助教授と三社は その足音に合わせて歩 新製品「ラピッドベッ

▲日経産業新聞 2003年(平成15年)2月5日(水) 掲載